

# 「ホワイト物流」推進運動

## 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
大和紙器株式会社	代表取締役社長	窪田 英志	大阪府	製造業	<a href="http://www.yamato-shiki.co.jp/">http://www.yamato-shiki.co.jp/</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年9月27日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号		取組項目	取組内容
1	A	③	パレット等の活用	荷役作業の中で、横持ち作業や2階へ運ぶなどの付帯作業を改善し、パレット降ろしでの納品改善を行います。トラック運転者の労働時間を短縮し、輸送効率を高める取組です。
2	A	⑩	リードタイムの延長	トラックの配送計画を立案する際、時間指定を意識するとトラックの積載効率や別便でトラックを仕立てる必要が発生し、輸送効率の低下に結びついています。この問題について、お取引様への納品時間の緩和(特に小口)について交渉を進め、積載効率のUPにつなげていく取組です。
3	A	⑮	納品日の集約	一ヶ月の中で製品を周期的に納品するものがあります。その製品の輸送量が少量である場合、輸送効率が悪くなっています。この問題について、お取引様にロットをまとめて頂き、納品回数を減らす事で、月間のトラック延べ台数を削減する取組です。
4	F	①	遠距離輸送の効率化	遠方輸送は、トラック運転手が安全に輸送する阻害要因であり、また「長時間労働」の原因にもなっています。この問題につきまちは、近隣工場への製造移管や外注化を行うことで、安全・長時間労働に関して改善していく取組です。
5	F	②	納品時の待ち時間の改善	着荷主側での待ち時間をなくす取組です。
6	F	③	社内におけるまとめ発注や時間指定緩和の取組み	社内における物品購入の一括化や時間指定の緩和について、実施して参ります。

PR欄	弊社は、2016年10月からトラック輸送における改善の取組を行っております。2018年度国土交通省の取組である「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」に参画し、改善における実証実験を実施致しました。この中で得たノウハウを生かして、お取引様及び輸送業者と合意の上で改善を実施して参ります。
-----	---